



循環型社会を目指して

組合員と進める地球温暖化対策アクション

地球温暖化問題は地球規模で語られることが多く、遠い問題のように感じるかもしれません。しかし本当は、身近なくらしの視点でとらえることが大切です。コープみらいは、組合員一人ひとりの生活でのアクションが環境保全につながると考えています。

夏季環境の取り組み「コープのエコ活」

「コープのエコ活」は、組合員と地球環境の現実について共有し、自分たちにできる身近なエコについて考える活動です。

2017年度は、CO₂削減アクション「エコ活！チャレンジ」を呼びかけました。家庭でできるCO₂削減項目を紹介し、その中からチャレンジ項目を宣言する企画です。23,259人の組合員が参加し、771トンに相当するCO₂削減につながりました。



組合員の協力でリサイクルを進めています

コープデリグループの2017年度回収量 (CO₂削減量計:33,700t-CO₂)

	宅配		宅配・店舗				店舗
回収品目	商品とカタログのお届け用ポリ袋	商品カタログチラシ	飲料用紙パック	ペットボトル	食品発泡トレー (店舗のみ食品透明トレーも回収)	たまごパック	アルミ缶
用途	パレット、車の部品など	再生紙の原料	トイレ用ペーパー・ティッシュペーパー	ペットボトル・たまごパック・ユニフォームなど	建材・ベンチ(芯材)・プラスチック製品	たまごパック、フルーツケースなど	アルミ缶、サッシなど
回収量 (kg)	587,677	42,349,867	1,003,626	980,200	252,570	177,041	154,892
前年比 (%)	106.5	107.9	108.2	102.8	107.9	97.0	100.8
CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)	1,528	24,563	502	3,529	1,591	655	1,332

マイバック持参を呼びかけています

2017年度 コープデリグループの
レジ袋辞退率*1とレジ袋想定削減枚数*2

81.4%

65,981,676枚



*1: レジ袋辞退率は来客数に対するレジ袋未利用者数の割合です。
*2: レジ袋想定削減枚数はレジ袋利用者一人当たりの実績1.2枚にレジ袋未利用者数を乗じて算出しました。

※レジ袋のCO₂削減量と原油換算値は環境省が提供する「3R行動見える化ツール(平成28年3月版)」を基にしました。

原油換算で200Lドラム缶
4,249本相当

お店で出た食品廃棄物のリサイクル

発生抑制に努めてもどうしても出てしまう、期限切れ商品や食品残さ等の食品廃棄物は、飼料や肥料、魚油、バイオガス、BDF(バイオディーゼル燃料)にリサイクルします。

コープデリグループの
食品廃棄物リサイクル率

2015年度	2016年度	2017年度
83.4%	83.7%	83.8%